

カメラ まちの出来事 あらかると

広報たかはし

広報たかはし



たかはしお城まつり

(4月13日 城見橋駐車場・備中松山城)

「第3回たかはしお城まつり」(同実行委員会主催)が城見橋駐車場と備中松山城で行われました。会場では恒例の火縄銃空砲演武、旗行列、演歌ショーなどがあり、来場者を楽しませていました。この日は初めて二重櫓が公開され、また天守には「備中松山城お宝展」と題して、甲冑、火縄銃など展示。来場者にガイドが分かりやすく解説し好評でした。



環境を考えるイベント・グリーンデイ

(4月19日 市役所前、栄町商店街)

高梁川流域の自然と人に優しい暮らしを考えるイベント「グリーンデイ2008」(同実行委員会主催)が開かれました。会場では約50団体が環境にかかわる展示やマイはし作りなどの体験ブースを開設し、環境保全の重要性をアピール。訪れた人らは環境への配慮の大切さを深めていました。また、郷土史家らの説明で路地を探索する「エコ路地めぐり」も行われ、参加者は城下町特有の暮らしの一端に触れていました。

たかうね桜まつり

(4月20日 たかうね桜の森公園)

宇治町で「第6回たかうね桜まつり」(同実行委員会主催)が開かれました。会場の公園は、標高350mの高台に地域の人たちが2001年に2001本の桜を植えて整備。特設舞台では地元グループの大正琴や傘踊り、地元出身者も出演する安来節保存会関西支部のドジョウすくいなどがあり、訪れた家族連れらは演芸や高台からの眺めを楽しんでいました。



ニューピオーネスクール開校

(5月1日 松山)

新しくニューピオーネの栽培を始める人や新規就農を目指している人たちに、収穫までの必要な技術を1年間かけて習得してもらい産地育成を図る「ニューピオーネスクール」が開校。1回目のこの日は開校式の後、早速芽かき作業の研修が行われ、参加者は真剣に説明を聞いていました。



弥高山の春を満喫 (4月20日 弥高山公園)

絶好の五月晴れの下、恒例の「弥高つつじ祭」(同実行委員会主催)が弥高山公園で行われました。ステージでは子供神楽やキャラクターショーが行われ、テントでは特産品の販売などがあり賑わいました。また、弥高山山頂をゴールとしたウォークラリーも開催され、先着200人に記念品をプレゼント、甘酒も振る舞われました。

迫力の舞を堪能

(4月27日 日名交流館かぐら)

「国橋まつり大神楽大会」(同実行委員会・成羽備中神楽振興会主催)が開かれ、多くの神楽ファンが県内の名神楽太夫の熱演を堪能しました。この大神楽大会は、江戸後期に現在の備中神楽の基礎を確立した西林国橋を顕彰して、毎年この時期に開かれています。



中世山城の歴史の謎に迫る

(4月27日 川面地域福祉センター・寺山城址)

市内各地に残る中世山城の価値を再発見しようと、「第1回中世山城探訪」(川面地域まちづくり推進委員会主催)が開かれました。今回は川面地域の寺山城址を取り上げ、午前は同地域まちづくり推進委員会史跡保存部会による整備や将来構想の活動報告。午後からは現地での見学会が行われ、約200人の参加者が中世に思いをはせていました。またアトラクションとして、山伏のほら貝吹流し、吉備国際大学弓道部員の射流し演技も行われました。

自転車の安全利用を

(5月2日 JR備中高梁駅前ほか)

朝の通学・通勤時間に合わせ、通学時等の自転車の安全利用を呼びかける広報キャンペーンが行われました。高梁警察署員や交通警察協助手員、交通安全団体、学校関係者などが参加。チラシや自転車用反射材などを自転車の中學生や高校生に手渡すとともに、2列通行等の違反には指導も行われました。



100歳おめでとう

4月29日に福嶋ことのさん(津川町八川)が100歳の誕生日を迎えられ、担当職員が訪問し、記念品や花束を贈って長寿を祝いました。市内で100歳以上の人は5月9日現在で27人(男性7人、女性20人)

今月の 表紙

山あいの棚田に早苗 (撮影日:5月7日)

5月に入り、市内では本格的な田植えシーズンを迎えました。中井町西方の柴倉前地区は、毎年ゴールデンウィークを利用して田植えが行われます。新谷茂夫さんの棚田(約30畝)では5月5日に田植えを終えました。田植えには親戚が集まって手伝う家もあり、普段は静かな山あいの集落もにぎやかになります。この地区には昔ながらの棚田が残り、どこか懐かしい風景が広がります。